



知夫小中学校
Tel 08514-8-2015
Fax " 8-2312
〒684-0100
知夫村 1053-1
[HP] <https://www.chibumura.ed.jp/>

応援され 愛されるチームに向けて 〜隠岐郡新人戦〜

夏の新チーム発足から一つの目標として掲げてきた新人戦。個人戦のアベック優勝をはじめ、部員全員が随所で活躍する姿が見られた実りある二日間でした。特に今大会では、ミスしても大きく崩れることがなく、精神面での大きな成長を感じることができました。たくさん地域のの方々練習に参加していただき、少しずつ「応援され、愛されるチーム」になりつつあると感じています。これからさらに郡大会、そして県大会に向けて、子ども達の「隠岐一番のふるまい」を素地として、チーム一丸となって頑張っていきたいと思っております。子ども達を支えて下さった多くの皆さん、本当に有り難うございました。これからもよろしくお願ひします。

〔女子部顧問〕

〔生徒の感想から〕

女子部キャプテン

個人戦で優勝するという目標を達成できました。団体戦は一回戦敗退だったけど、チームで一つになって戦えたし声を出せたので良かったです。個人戦は、涼子さんと声を出して頑張りました。ミスしても次の一本に集中し、ネガティブにならないよう強気で攻め込みました。個人戦の決勝戦は団体戦が全て終わった後になったのに、応援してくれる方が多くて嬉しかったです。私がミスすることが多かったけど、涼子さんが手を握って励ましてくれました。改めて涼子さんがペアで良かったと思いました。先生方や地域の方、一年生や同級生からも応援や励ましがあり、楽しく試合ができました。いろいろな人に感謝するようにしたいと思います。



【学校教育目標】

未来を切り拓く
心豊かでたくましい
知夫の子どもを
育成する

【めざす子ども像】

- ・自ら学ぶ子ども
- ・共に生きる子ども
- ・たくましく
生きる子ども
- ・ふるさとを
愛する子ども

男子部キャプテン

団体戦は一回戦で負けてしまいました。試合をすることができました。これまで僕たち男子ソフトテニス部は、あいさつや返事など技術よりも日頃の生活を変えることを意識してきました。「あいさつ一番」「しっかり返事」「本気で声出し」「素早く行動」「オレたち必勝」が部の合い言葉です。その結果を新人戦で出すことができうれしかったです。また、地域の方々からの熱心なご指導や先生方にもボール拾いをしていただき、たくさん支えのおかげで結果を残すことができました。本当にありがとうございます。

しかし、僕たちは新人戦だけでは満足していません。団体優勝、県で勝つために、チーム一人一人が普段の生活を大切に、本気で練習に取り組みんでいきたいと思っております。また、僕たちを支えてくださるたくさんの方々に対する感謝の気持ちを忘れずに、日々努力していきます。



新人戦前には、初の試みとして生徒と保護者を対象に「スポーツメンタル講演会」を開催しました。講師に※小林亮輔氏をお迎えし、試合本番に向かう生徒や、プレッシャーと闘う生徒を支える保護者にとって大変有意義なお話をいただきました。

※出雲北陵高校卓球部、松江商業高校サッカー部のスポーツメンタルトレーナーとして活躍中

また、新人戦に向けて、知夫中学校男子ソフトテニス部OBの方々に来ていただき、試合の相手をしていただきました。試合をする機会の少ない環境も、OBの力を借りることでカバーすることができました。これからも引き続き、ご協力をいただきたいと思います。

縦割り班で協力して 〜小学部 サバイバル遠足〜

十月三日（水）、竹名海岸で小学部のサバイバル遠足を行いました。昼食は家からもちよる米一合ずつと、班で計画を立てた千円分の材料のみです。当日は子どもたちの願いが天に通じたのか、台風一過で風もなく、絶好の遠足日和に恵まれました。海岸につくと、早速かまどや野菜を切るなど昼食の準備が始まりました。五・六年生を中心に手際よく昼食の準備を進めることができました。できあがった昼食はカレー、サザエの炊き込みご飯、サザエのバター焼き、味噌汁などでした。どれも自分たちが苦労して火をおこし、調理したとあっておいしくいただきました。一人では、できないことも力を合わせて協力すると楽しく充実したものになります。学べたのではな

いかなと思います。

〔児童の感想から〕

小学部四年

サバイバル遠足は自分たちでごはんを作って食べたり自分たちで魚をつったりするものです。わたしはかまど係でしたが、ときどき料理係に入りました。わたしたちの料理にはみそしるがありました。本当はその中に魚を入れる予定でしたが、つれなかったのに入れられませんでした。でも、午後から長き先生がわたしのつり糸と落ちていた木を合体させてさおを作り、つり糸と落とすのを楽しみました。去年は雨で行けなかったからものすごく楽しかったです。

小学部六年

今日のサバイバル遠足は、班長として少し不安がありました。「皆にうまく説明ができるのか。」「話を聞いてもらえるのか。」「そんなことを、ずっと思っていました。買い出しの時などに、自分勝手な行動をする人がいたけど、準備の時に手伝ってくれたりきちんと話を聞いてくれたりする人もいてうれしかったです。中略

今回の遠足は楽しかったです。でも、つらいことや、いやなことの方が多かったかなと思います。自分が指示をきちんと出して、班長として皆より先に動いて、いい班長になれるようにしたいですね。いい班長にはなれないか。これについては、一学期から悩んでいます。悩み続けるのもつらいので、早く解決させたいです。

この遠足に際して矢田堅四郎様（大江地区）よりサザエを提供していただきました。ありがとうございました。



小中学生みんなの力で 〜知夫小中音楽会〜

十月二十三日（火）知夫小中学校音楽会が開催されました。この音楽会は、保護者や地域の方々に向けて、児童生徒が校歌や合唱、合奏曲を披露するものです。今年には新たに小中合同での合唱に挑戦しました。知夫の子どもたちは学年関係なく、すぐに打ち解けて仲良くなれるように、歌声もすぐに打ち解けて、小学一年生から中学三年生のみなどで心をひとつにして、合唱と合奏を披露することができました。心と心が通い合って、またひとつ絆が深まったと感じています。会場に足を運んでくださった保護者の皆様、地域の皆様、ありがとうございました。

〔音楽担当〕

〔生徒の感想から〕

中学部一年

合奏は、小中合同で行いましたが小学生の上手さにびっくりしました。本番までにはできるようになるか不安だったけど上手くてよかったです。合唱は最初高い声が出なくて困ったけど、真剣に練習して良い合唱になったのでよかったです。楽しかったです。



家庭学習を 充実させるために

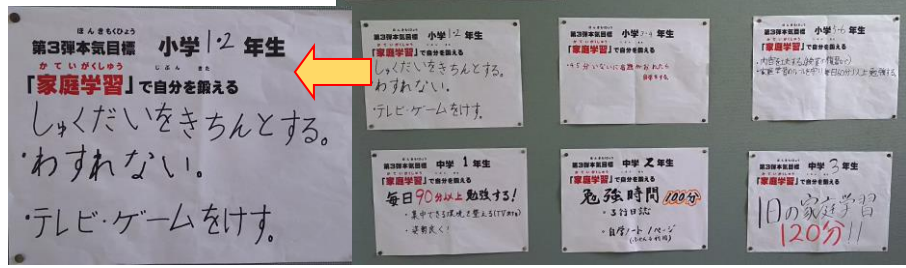
知夫小中学校では、家庭学習の充実に向けてさまざまな取り組みを行っています。二学期の始めには、「家庭学習の手引き」を作り、全校児童・生徒に配布しました。この手引きには、各学年の家庭学習の時間の目安や、学習のポイント、各教科の学習内容の例などが記してあります。

また、児童・生徒会の活動である「本気目標」では、子どもたちが家庭学習に焦点を当て、各学年の目標を設定しました。そして、九月二十六日の「参観日」には、学級ごとに「家庭学習についてどう取り組むか」について考える授業を行い、保護者の方に参観していただきました。この授業をきっかけに、家庭学習の時間を毎日確認したり、学習ノートを活用して家庭学習を行ったりするなど、子どもたちの家庭学習に対する意識も変わってきたように感じます。

今後も家庭学習を通して、子どもたちが自ら進んで学習に向かうことができるような取り組みを行っていきたくと考えています。

〔学力向上担当〕

本気目標



小中一貫校の
強みを活かす⑤

月 日 曜日

少人数② ※本校の取り組みについて ～人数が少ないからこそ大切にできる～

今月の「知夫小中学校の強み」は、先月に続き「少人数」についてお伝えします。先月のところでは、知夫小中学校の教職員が考えた「少人数であることの強み」を下記のように紹介しました。

一人ひとりが大切にされる	一人ひとりに丁寧な指導ができる	「分からない」を少なくできる
一人ひとりに深い理解をさせることができる	一人ひとりが主役になれる	様々な体験ができる
他学年の友達と深く関われる	密な人間関係が構築できる	縦割り班活動が多くなり、上級生の活躍の場が増える
発言する力がつく（発言の場が多い）	体力がつく	人とのつきあい方が学べる（折り合いをつける力）

今月はその中でも、「一人ひとりが大切にされる」「一人ひとりに丁寧な指導ができる」「分からないを少なくできる」という点について、【中学部の「学力パワーアップ週間」】の取り組みを紹介します。

定期テスト（中間・期末テスト）の一週間前になると、中学部は学力パワーアップ週間に入ります。そしてその期間は部活動をやめて、放課後1時間生徒を教室に残しテストに向けての学習に取り組みます。基本的には、各学年がそれぞれの教室で教科書やノートを使っての復習や、教科担当者から指定された問題集やプリントで学習します。教室には各学年の担任・副担任がつき、生徒の質問に対応します。



7月の期末テスト前には、教育委員会の教育コーディネーター（職員）にもお手伝いいただき、生徒の学習をよりよいものにしていくよう工夫しました。パワーアップ週間前のところで、生徒に「試験に向けて個別に支援してほしいかどうか。」を尋ね、「希望したい。」と答えた生徒に対しては、別室でコーディネーターなどの指導者による個別指導を行いました（最大4人の指導者についていただく）。

※写真は、別室で個別指導を行っているところです。
中学生23名に対して学校教員が8名、コーディネーターなど外部からのサポートが4名、合計12名で指導にあたりました。この時は、生徒2名に一人の指導者がつき、学習指導を行ったこととなります。

先日、島前小中学校音楽会を終え、小学部は大きな行事が一段落しました。これで、放課後の時間にゆとりができます。今後は小学部も「学力パワーアップ週間」に取り組んでいこうと計画中です。担任を中心に、中学部同様、教育委員会の教育コーディネーターの力を借りたり、中学部の教員の支援も受けたりしながら、児童の学力についての基礎をしっかりと築いていきたいと考えています。子どもの「分からないを少なくする」つまり、子どもの「分かるを増やす」ことで子どもの学習への意欲も高まっていくと考えます。一人ひとりの児童・生徒を大切にしながら、よりよい教育活動を推進していきます。

おじやましました 古海「だんだん会」

十月十一日（木）に小学部三・四年生が古海地区の「だんだん会」に参加させていただきました。

だんだん会とは古海地区のお年寄りが月に一度寄り合う会です。村の保健師さんのリードで体操をしたり、社会福祉協議会の職員さんの企画のゲームをしたりと、お年寄りと一緒に楽しいひとときを過ごしました。その後お茶やお菓子まで一緒させていただいた三・四年生。お礼とばかりに先日の村民体育祭でも披露した「ソーラン節」を踊りました。「どっこいしょ。どっこいしょ。」と古海地区の皆さんのかけ声に、子どもたちも乗せられていただきました。古海地区の方々から「元気をもらった。」「今日は来てよかった。」と言葉をいただき、子どもたちもお年寄りも笑顔が広がる会となりました。



〔三・四年担任〕

九月には、多沢の「びんころ会」に小学部一・二年生が参加させていただきました。定期的に開催されています。定期的におじやまさせていただきます。古海地区や多沢地区以外にも「うちの地区に寄ってほしい。」という地区がありましたら、教えてください。

